

情勢報告（令和7年11月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

さらなる栽培技術向上のために ～ミニトマト部会 大分県竹田市視察～



ほ場視察の様子

10月21日、れいほく園芸部ミニトマト部会は大分県竹田市のミニトマト栽培事例の研修を行い、部会員、JA、役場、普及所から計8名が参加しました。

普及所は、関係機関と連携しながら実施計画の策定や視察先との調整などを行い、円滑な研修を実施しました。

竹田市は嶺北地域と同様の夏秋栽培を行っており、栽培環境がよく似ている地域です。ほ場を見ながら積極的に意見が交わされ、夏秋栽培ならではの課題や対応策が共有されるなど、実りある有意義な時間となりました。

普及所は、今回の研修の成果が部会の栽培技術向上につながるよう指導を続けていきます。

シシトウ栽培者を増やそう！ ～シシトウ新規栽培者講習会～



講習会の様子

れいほく園芸部シシトウ部会は11月7日、嶺北農業改良普及所の研修室にて、シシトウ新規栽培者講習会を開催しました。

この講習会は普及所がシシトウ部会、JAと協力して取り組むシシトウ新規栽培者拡大の活動の中で行われたもので、広報原稿や当日資料の作成、講師である部会長との調整、同日の進行などを普及所が担当しました。

当日は新規栽培希望者1名と栽培1年目の生産者5名の計6名が参加し、部会長等が参加者からの質問に答える形で基本的な栽培技術を説明しました。参加者からは「具体的に教えてもらえて良かった」と好評でした。

普及所は次作に向け、このプロジェクトの取り組みをさらに進めていきます。

花育活動

～大川小中学校でフラワーアレンジメント体験～



花育授業の様子

11月11日、嶺北地区の花き生産者が大川小中学校の1年生から6年生の児童16人を対象に、フラワーアレンジメントの体験学習を指導しました。

地元で生産している花き類について知ってもらい、家庭で花を飾る習慣を広めたいと実施しているもので、普及所は学校との調整や準備などJAとともに開催を支援しています。生産者から栽培している花き類について紹介をしたあと、自由にフラワーアレンジメントを体験してもらいました。

ユリ、トルコギキョウなど同じ種類の材料を使っても、できあがりには千差万別で、児童からは「きれいにアレンジできてうれしい！」という声がありました。

今後も普及所は、今後も花育の推進を支援します。

～大豊地区農漁村女性グループ研究会の郷土料理伝承講習会～



実習の様子

11月14日、大豊地区農漁村女性グループ研究会3名は、地域の郷土料理を伝承するため、大豊学園の5年生9名を対象に郷土料理伝承講習会を開催しました。普及所は大豊町役場と連携し実施計画やレシピ等の資料作成や当日の運営を支援しました。

児童は、食材として使用する銀不老豆やぜんまい、えごまなどの地元農産物の説明を研究会会長から受けた後、銀不老寿司やこんちん、ぜんまいの油炒め等の郷土料理の実習に取り組みました。

普及所は、今後も大豊地区農漁村女性グループ研究会の郷土料理伝承活動を支援していきます。